

私立小・中・高等学校等における体罰の実態把握に係る調査結果（概要）について
＜文部科学省の体罰の実態把握に係る報告（第1次報告）による＞

1. 調査内容

- (1) 対象 県内私立小学校1校、私立中学校5校、私立高等学校9校（通信制を除く。）、私立中等教育学校1校 計16校
- (2) 調査対象期間 平成24年4月1日～平成25年1月31日
- (3) 調査項目 発生日、当事者の学校種、被害を受けた児童生徒人数、体罰時の状況、体罰の態様、被害の状況等

2. 調査結果

- (1) 体罰のあった学校：6校（全て高等学校）
- (2) 体罰の件数：17件（発生日別）
※同一教員が別の日に体罰を行った場合も、それぞれ1件とする。
- (3) 体罰時の状況
（場面）17件中16件が部活動中に発生している。
（残りの1件はホームルームで発生）
（場所）運動場・体育館、教室
- (4) 体罰の態様
平手で叩く、竹刀で叩く、足で押し倒す等
- (5) 被害生徒数：延べ38人
- (6) 被害の状況：17件いずれも傷害なし

3. 学校の対応

- ・体罰のあった学校では、被害生徒や保護者への謝罪、体罰を行った教員への管理職による指導や部活動の顧問変更、被害生徒以外の生徒への体罰行為についての謝罪と説明等を行った。

4. 今後の対応

- ・学校法人には、体罰をなくすための体制整備や研修機会の充実を求めていく。体制整備に関しては、県教育委員会が各県立学校に設置した体罰防止対策委員会に準じたシステムを学校または法人組織内に設置するよう要請する。
- ・今後も私立学校の校長会などの機会を通じて、さらに県と学校法人との連携を密にし、体罰根絶に向けた取組が充実するよう支援していく。
- ・毎年実施している県による学校現地調査を通じ、体罰防止の取組状況についても把握・指導する。

体罰に係る実態把握の結果について(平成24年4月～平成25年1月 私立学校における体罰の状況)

NO	発生年月	件数	学 校	職 名	状 況		被害生徒数 (延べ人数) 合計	けがの状況	体罰の態様
					場 面	場 所			
1	H24. 4月～H25. 1月	9	A高等学校	教 諭	部活動	体育館	27	傷害なし	平手でほおをたたき、両手で同時にほおをたたき
2	H24. 7月、10月	2	B高等学校	教 諭	部活動	運動場	2	傷害なし	ほおを平手でたたき
3	H24. 8月、12月	2	C高等学校	教 諭	部活動	体育館	4	傷害なし	胸を数回押す、平手でほおをたたき座っている生徒を足で押し倒す
4	H24. 7月	1	D高等学校	教 諭	ホームルーム	教 室	1	傷害なし	ほおをたたき
5	H24. 5月	2	E高等学校	教 諭	部活動	体育館	3	傷害なし	太ももを竹刀でたたき、正座していた部員の胸を蹴って後ろに倒す
6	H24. 6月	1	F高等学校	教 諭	部活動	運動場	1	傷害なし	平手でたたき足で太ももを蹴る
計		17					38		

* 体罰をした教員は、各校とも1名

* 体罰が行われた部活動としては、ハンドボール部、柔道部、剣道部、ソフトテニス部、野球部である。